

# ～地魚の需給調整と加工品の拡販～ 有限会社山平商店（千葉県鴨川市）

## 背景・課題

鴨川港は、房総半島で有数の漁港であるものの、周辺には大型冷凍冷蔵庫がなく、地元で水揚げされた魚は鮮魚・チルド出荷しかできないため、大量水揚げ時等では低価格で引き取られている。

## 取組のポイント

地域内水産業の活性化、鴨川産水産物の流通量拡大を図るため、鴨川において凍結保管体制、トレサビリティシステムを導入し、需給調整を図る。

- 社内規定整備を依頼し、HACCP等取得後のマニュアルを作成する。
- 冷凍庫を導入し、鴨川に水揚げされた水産物の凍結、保管体制を構築する。
- 選別、凍結、加工のための機器を導入し、商品のバリエーションを増やす
- 水産物トレサビリティシステムを導入し、安全で高品質な水産物の供給体制を構築する。

## 取組の成果

- 冷凍庫を導入したことで、高品質な冷凍加工品の製造が可能になり、処理量及び仕入数量が増加。
- 凍結したブリやワラサ等のフィレや切り身加工を実施。業者を通じて病院等に納品。鮮魚出荷以外の新たな販路開拓に成功。
- トレサビリティシステム構築の一環として、販売先への送り状に海域番号を申告するとともに、産地や魚体、品質についても情報提供することで取引先から評価を得る。

## プロジェクトフロー

地域に大型冷凍庫が無いことから、生鮮出荷で販売せざるを得ない。

### 鴨川漁港等

生鮮出荷のみでは魚価の変動が大きく、利益が低い。

・自社、地元漁業者

需給調整が可能になり、魚価が安定

### 有限会社山平商店

加工品製造に着手したいが設備が不十分

凍結庫等を導入し、水産物の冷凍保管を実施

冷凍加工等で鮮魚出荷以外の販路を開拓

### (販売先)

市場出荷

学校給食などの新規販路開拓

冷凍加工品の販売量増加

鮮魚自動定量器



冷凍加工品



凍結庫

